

シンガポールに3億2,000万米ドルを投資し、生産拠点を設置

February 24, 2014

本資料は、米国アッヴィ社が2014年2月5日（米国時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・抜粋・再編集し、2月24日、皆様のご参考にご提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。*本資料（英文）については、www.abbvie.comをご覧ください。

米国イリノイ州ノースシカゴ（2014年2月5日） –アッヴィは、3億2,000万米ドル（約4億シンガポールドル）を投資し、シンガポールに低分子および生物学的製剤の有効成分の生産拠点を設置することを発表しました。この施設は、当社のオンコロジー領域および免疫領域のパイプラインに含まれる新規化合物を生産し、世界中の市場に供給することになります。

今回の投資により、アッヴィとしてはアジア初の生産拠点が誕生します。当社のアジア拠点には、日本・東京および中国・上海の研究開発部門と、地域全体に展開する営業拠点があり、現在、営業、グローバル研究開発、および業務全般を担当する従業員120人をシンガポールに展開しています。

当社オペレーション担当シニア・バイスプレジデントのアジータ・サレキ・ゲルハルト（Ph.D.）は、次のように述べています。「シンガポールは、アジアの急成長するバイオクラスターとして、厳しい品質水準を保ち、世界中の患者さんに提供する生産ネットワークを拡張する上で理想的な場所にあります。シンガポールに拠点を展開することにより、地域的なバランスと製品供給の継続性を確保しながら、成長する生物学的製剤および低分子の製品パイプラインを提供する能力を強化することができます。」

シンガポール経済開発庁（EDB）のバイオメディカルサイエンス担当局長を務めるケビン・レイ氏は、次のように述べています。「このたび、シンガポールがアッヴィのアジア初の生産拠点となったことを嬉しく思います。今回の投資は、シンガポールが高い生物学的製剤の生産能力を有していることの表れです。この分野の継続的な成長を支援するため、シンガポールは、人的資本の開発に重点的に投資し、需要を先取りして、生物学的製剤の生産を担う人材を訓練する新たなプログラムを導入する予定です。」

今回の投資を受けて、新たに250人以上の雇用が創出される見込みです。アッヴィは、2019年までに新施設の全面稼働を予定しています。

アッヴィは、満たされていない重大な医療ニーズに対応する低分子および生物学的製剤パイプラインを提供し、自己免疫疾患、肝疾患、オンコロジー、神経科学、腎疾患の治療領域において、患者さんの健康を改善するべく重点的に取り組んでいます。当社ならではの提供製品は、125年間にわたる医薬品開発の伝統とバイオテクノロジー企業の革新的な視点が融合して生まれたものです。

当社の生産ネットワークは現在、米国、ヨーロッパ、プエルトリコの12拠点と、製造委託会社との戦略的提携から構成されています。

アッヴィについて

アッヴィ（NYSE：ABBV）は、アボットからの分社を経て2013年に設立された研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。弊社のミッションは、専門知識、献身的な社員、独自の革新的アプローチを通じて、世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する先進的な治療薬を開発し、提供することです。アッヴィは、世界で約25,000人を雇用し、170カ国以上で医薬品を販売しています。当社の概要、ならびに当社の人材、ポートフォリオ、コミットメントの詳細については、www.abbvie.comをご覧ください。またTwitterにて@AbbVieをフォローし、FacebookまたはLinkedInのキャリアページをご参照ください。